

H30年度 行動障害ワーキング振り返り・評価シート

H31年3月6日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

放課後等デイサービスを中心に現状把握を行い、取り組むべき課題を明確にする。

【今年度の取り組み内容】

| | | | |
|------|----|-----|---------------------|
| 開催回数 | 6回 | 開催月 | 7月、8月、10月、12月、2月、3月 |
|------|----|-----|---------------------|

具体的活動内容

・行動障害のある方への支援についての研修の内容を現場で取り入れて実践しているという事業所があることから、市内の3事業所(生活介護)に訪問し、取り組み内容等についてヒアリングを行った。
・ヒアリング内容から、「他事業所の実態を知りたい」という事業所からの要望も踏まえ、まずは、事業所同士の顔合わせや、横のつながりを持つ機会となるよう、行動障害に対する根拠に基づいたアプローチを実践している事業所からの報告と情報交換のできる研修(行動障害のある方への支援についての情報交換会)を3月6日に実施した。

【今年度の取り組み結果】

(今年度の活動からどのような結果となったのかを記載)

・行動障害のある方への支援についての情報交換会を3月6日に実施し、事業所同士の横のつながりを持つ機会となった。また、今後、行動障害のある方への支援について、どのような研修や取組が必要であるかについて意見をもらうことができた。

【取り組みの成果】 ※モニタリングを実施した場合のみ

(取り組みの結果が「どのように地域へ還元できたのか」をモニタリングから確認した内容の記載)

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・柔軟にできたワーキングだった。実態把握をする中で、修正していきながら、取組を考えることができ、最終的に情報交換会の実施という形になった。
- ・動きがスムーズでやりやすかった。
- ・情報交換会を実施したことで、来年度の取組の材料ができた。
- ・情報交換会で、来年度に向けての課題もわかった。
- ・スピード感を持ってやれるとよい。困っている多くの当事者に還元できると良い。
- ・初のワーキング参加だったが、議論を積み重ねて、最終的に実のある情報交換会も開催できて、よいワーキングだった。当事者にきちんと残る形となった。
- ・情報交換会の内容は、所属する事業所に持ち帰ってもらえるものだった。
- ・意見を出し合いながら、変化しながら、形になってきたことがよかった。ワーキングという場が大切だと思った。
- ・スピード感があってよかった。
- ・情報交換会で、来年度の道筋をつけることができた。
- ・行動障害のある方への支援について悩んでいる事業所に向けて、どのように返答したらよいかと思っていたが、情報交換会の場で、事例検討会のような形のグループワークができて、今後の子ども家庭センターとしての取組の参考にもなった。

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で(活動の振り返りから)、どのような協議会の機能があったかを確認する。

※協議会の機能詳細については別紙を参考。

| | 確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等) |
|--------|--|
| 情報機能 | ・きちんと実態把握を行った。 |
| 調整機能 | ・実態調査の結果から、取り組みを修正しながら検討できた。 ・情報交換会を実施した。 |
| 開発機能 | ・既存の取組等の情報も確認しながら検討できた。 |
| 教育機能 | ・実態調査を通して学ぶことができた。 |
| 権利擁護機能 | ・地域で困っている当事者のことを思いながら検討を行ってきた。 |
| 評価機能 | ・サービス提供事業所、学校、相談支援事業所、行政が同じ場で話し合うことができ、共有し、振り返ることができた。 |

【今年度の振り返り・協議会の機能から確認できた成果】

※モニタリングによる成果(地域へ還元できたかどうかの成果)とは異なることに留意

- ・実態調査を踏まえた情報交換会を開催できた。
- ・情報交換会で今後の研修や取り組みについて意見をもらうことができ、来年度の活動につなげることができた。

3 来年度の取り組みについて

| | |
|----------|--|
| 来年度の継続 | <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 終了 |
| 継続・終了の理由 | 情報交換会の意見をもとに、必要な研修を実施していく必要があるため。 |

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

| | | | | |
|-----------------------|---|------------|---|---|
| 今年度の取り組みに対するモニタリングの実施 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | モニタリング実施時期 | 年 | 月 |
|-----------------------|---|------------|---|---|

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】

※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

- ・サービス提供事業所からメンバーに入ってもらおう(メンバーの人数も考慮する)。
- ・年間計画(見通し)を立てて取り組む。

【来年度の方針・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】

※来年度継続の場合

- ・平成30年度ワーキングで実施した情報交換会での意見をもとに、行動障害のある方の支援についてどのような研修(学びの機会・場)があるとよいかを整理し、研修内容を決定後、開催する。